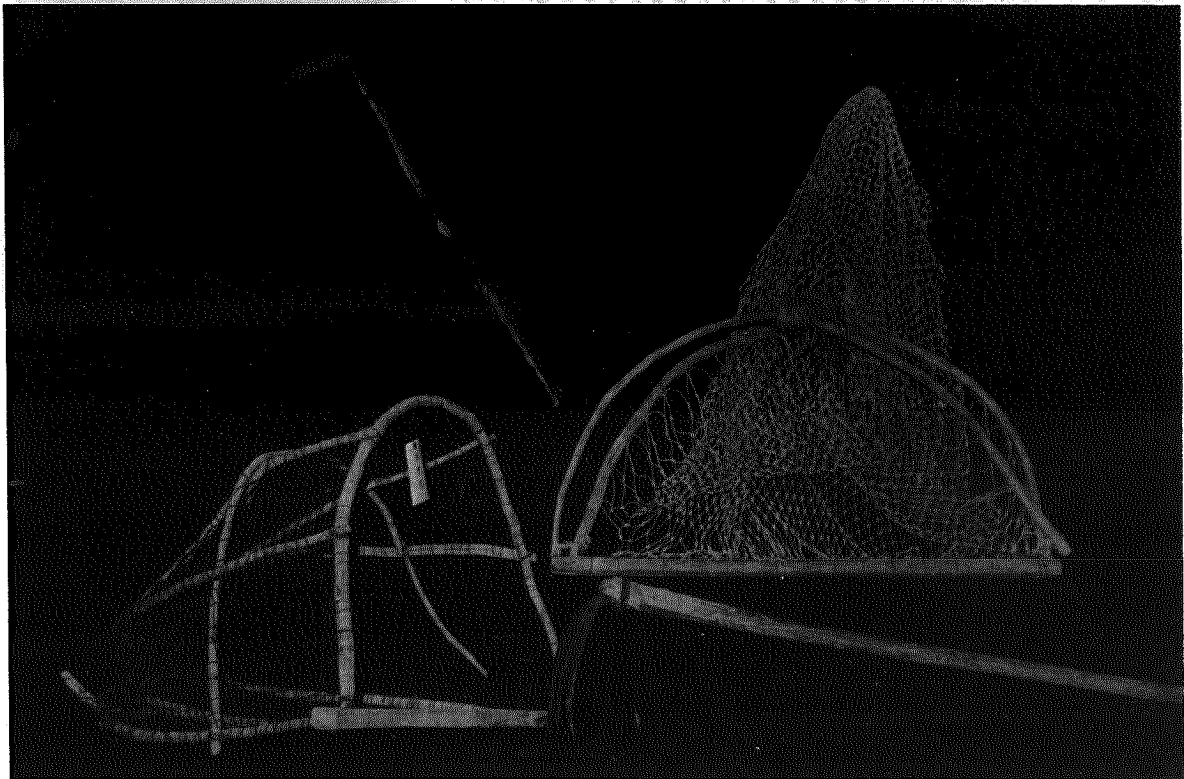


- おまな内容—
1. 「がん」は治る (1P)
 2. コンパインのケガや事故を防ごう (2P)
 3. マルチネズミ講商法の正体 (2P)
 4. 村職員採用試験のおしらせ (2P)
 5. 20才と国民年金 (3P)
 6. 積極的に考え行動する情熱を (4P)
 7. 横中女子バスケット惜敗 (4P)
 8. 農協チーム初優勝 (4P)
 9. 青年女子バレー悲願の全国大会へ (4P)

横越村民具資料 No.8
川砂に埋っていた川木をとる時



「がん」は治る

早期発見と治療が大切

「がん」による死亡は、年令的にみると35才から50才代に多く、社会的にも家庭的にも中堅の働き手であることから、社会問題として大きく論議されています。

このようなことから聞では、九月をがん征圧月間とし、がんに対する関心を高めることに正しい知識の普及を図って、皆さんの身体が、がんに犯されずいつまでも健康でいられることを願っています。

がん征圧月間 9/1～9/30

横越村では、昨年の死亡者七〇人中がん死者は一七人あり死亡順位では脳出血に次いで二位、24割を占めました。このことは、全国的な傾向からみても非常に高く、横越村はがんの死亡者が多いといえます。

子宮がんの危険信号

①月経以外の出血。②変わった帯下(こしけ)。③月経の異常。④下腹部の不快感、痛み。こんな異常がすべてがんに結びつくものではありませんが、むしろ他の原因によるものが、むしろ多いといえます。



ためらわず先ず検診

がんの発生原因が明らかでないため、これぞといった決め手はありません。がんは何の異常を感じなくても、静かに進行しています。従来「がん」は不治の病として、絶望的な病気の代表と考えられておりましたが、このころでは早くみつければ、すぐに治療すれば、ほぼ百治するようになりました。一人ひとりが自分の健康に留意して、あらゆる機会をとらえて定期的に健康診断を受けることだと思います。

胃がん予防は 早期検診と早期発見

自覚症状がなくとも定期的に検査を受けてください。

どんな「がん」が多いか

	男	女
食道癌	5.4%	2.3%
胃がん	10.4%	4.4%
膵臓癌	46.8%	45.3%
肝臓癌	37.3%	37.6%
胆膵癌	3.8%	3.0%
子宮頸癌	2.9%	12.2%
乳がん	2.2%	22.6%

秋風が吹いてもなおも浴衣かな。などという寂寥を感じさせる句があるが、九月の声を聞くとき急にハダ寒さを覚える。ススキの穂もだんだんと白くなり始め、越後山脈の美しくもいささか美しく見えてくる。そろそろ取巻の日も近づいてくる。

こんな時にかせを引くと、いままでの暑さのあまりで食欲がなく、夜は十分な睡眠がとれなかったり、体重が減少し、体力がひどく衰えておるので思わぬ大病にかかりやすいので、油断がならない。最近若い人が何かのシモッタでとつぜん病になり死ねと云う事が多い。特に秋を迎え忙がしくなる季節にモウレンに働いている青年に多いといううから可哀なりである。とかく疲れすぎてはいけないうと思いが、さりとてこれを口実に疲れたからと怠けておられるのは困るが、お互に健康に留意し、特に農作業の上での怪我に十分注意し、自分にあてられた仕事に精一杯頑張っていたとよい。

又昔から二十日とか、二百二十日とかいって今月は台風のシーズンでもある。万一の場合の為に備えて、懐中電灯、トランジスタラジオなどを用意し、貴重品もまとめておいた方がよいと思ふ。

そして長い間精進をこめて育てた稲に對して台風の災をまぬがれ、蒲原社のオタタセンの通り八分の作(農作)を祈念しながら、月の美しい季節になりなすから、月見の実などを聞きながら、家族と共に、そして友人などと、時には日頃のしがしさを忘れ、自然の美しさを思い合うのも又楽しいものだと思ふ。

(山崎)